

何をするのか？

地域DX

令和7年度～令和9年度の3年間は、“医療介護等”、“防災”、“地域コミュニティ”、“子育て”を重点テーマとし、以下の事業を実施します。

- ・デジタルインフラの構築と活用 令和4年度に導入した「データ連携基盤（都市OS）」を活用して、本人の同意により、アプリやサービスが保有するデータを繋ぐ（又はいつでも繋げる状態にしておく）ことで、必要な情報やサービスを必要な時に取得、利活用ができる仕組みを構築します。これによって、茅野市に住む人、訪れる人、関わる人を繋ぐ新しい結いの形を構築します。
- ・アナログの再構築（くらしや仕事の見直し） これまでのくらしや仕事の進め方の“当たり前”を見つめ直し、人の手でなくても良い部分をデジタル技術に置き換えたり、不必要なことをやめるなど、社会の変化に合わせた最適な方法に変えていくために、地域からの声を収集し、全体最適な事業を検討、実施していきます。
- ・ポータルサイトの充実 都市OSの入口となるポータルサイト「茅野市どっとネット」に意見集約機能や学びのカatalogサイト（デジタル講座などの集約サイト）機能を実装し、ポータルサイトの充実と活用を促進します。

庁内DX

- ・ガバメントクラウドへの対応／マイナンバーの活用（国との連動事業）
- ・AI／RPAの活用による業務改善 ・書かない窓口とキャッシュレス収納の導入／検証

誰と進めるのか？

市民代表からなる「茅野市DX外部評価委員会」と推進主体となる「茅野市DX推進協議会」を中心とした推進体制の構築を目指します。



市民



DX外部評価委員会



DX推進協議会



茅野市役所

市民とともに進めていくための4つの柱

市民の皆さんがDXに安心安全に参加できるよう、以下の4つの柱を基盤として進めます。

原則とルール

DXを推進する行政、団体、事業者、DXの恩恵を直接的・間接的に受ける市民及び茅野市に関わる人が、安心して参加できるように一定のルール（5つの原則と11のルール）を定めました。

意見の反映・参加の促進

多くの市民が“自分ごと”として主体的にDXの取組へ参加できる機会と、市民が抱える課題や現場の声を反映する仕組みを作ります。

学びの場の提供

市民が安心してDXの取組に参加するための理解と、DXによるまちづくりに主体的に関わるためのスキルを高めることができる学びの場を提供します。

データ連携

データ連携の仕組みを明らかにし、データ連携基盤の運用にあたってデータを安全に管理、利活用していきます。

茅野市DX基本計画の策定経過

本計画の策定にあたっては、市民代表の茅野市DX外部評価委員会の皆さんと延べ21回の会議による検討と、15回の茅野市DX推進協議会（部会を含む）での議論が重ねられました。外部評価委員会の委員の皆さんには、デジタルやIT等の有識者は誰一人おらず、「市民にとってのDXとは何なのか」、「あなた（市民）にとっての“幸せ”とは何か」一人ひとりの認識合わせから会議は始まり、ワークショップ等を行いながら、丁寧な議論を重ねていただきました。これらの議論から生み出された“市民目線”がふんだんに盛り込まれた本計画に基づき、市民中心のヒューマンファーストなDXを市民の皆さんと共に進めていきます。



「茅野市のDX」のススメ方 茅野市DX基本計画を策定しました

問 DX推進課 地域DX推進係 ☎72-2101（内線244・245）



茅野市DX基本計画の詳細はこちらから

茅野市は、令和4年に国家戦略特区である「デジタル田園健康特区」に指定されたことをきっかけに、同年を“茅野市DX（ディーエックス：デジタル・トランスフォーメーション）元年”と位置付け、地域のDX推進に取り組んできました。

この度、令和4年6月に策定した茅野市DX基本構想に基づき、茅野市のDXの進め方を具体化する「茅野市のDX」のススメ方－茅野市DX基本計画－（令和7年度施行／計画期間3年）を策定しました。本記事では、茅野市DX基本計画の概要をご紹介します。

茅野市が「DX」で目指す“人のくらし”・“まちの姿”

「ゆとり」ある“くらし”

これまでの当たり前を見つめ直し、人がやるべきことの取捨選択やデジタルへの置き換えによって、市民が生活に「ゆとり」を生み出すことができる社会を目指します。

「全体最適」な“まち”

個別の課題解決が新たに誰かの困難を生むことなく、社会全体の幸せが向上するようなDXを検討し、実現できる社会を目指します。

3つのあいことば

茅野市のDXを進めるうえで、大切に共通認識となる“3つのあいことば”を定めました。

ヒューマンファースト

市民生活の課題を起点とし、デジタルの得手不得手に関わらず、誰もが最大限に恩恵を受けられるDXを目指します。

NOT!
デジタルファースト



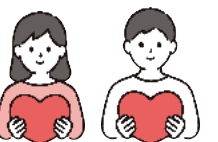
共創

サービスの立案から運用、改善検討まで、随時市民の声と力を取り入れるとともに、DXに関わる全ての人（団体、大学、事業者等）が、それぞれの専門性を活かしながら、共に助け合って創り上げます。



透明性の確保

DX導入の目的と進捗経過、運用上の評価の透明性と、データやセキュリティの安全性を確保します（自分に関するデータの取扱い状況が確認できるなど）。



茅野市が取り組むDX

- ・市民の“くらし”や地域の様々な課題解決のために、生活者の声を取り入れた誰もが恩恵を受けることができる地域のDX化に取り組めます。（地域DX）
- ・地域DXとの連動を図りながら、市民にも職員にも魅力ある効率的な市役所の創造に取り組めます。（庁内DX）

